

ばら通信

2011.06.15発行

〒010-1638 秋田市新屋表町8-5
☎018-828-7750 Fax018-828-8185

社会福祉法人グリーンローズ

「ことば」の教室
オリブ園
インクル

新学期



新学期にあたって

オリブ園 施設長 後藤 進

ついこの間、入園式を迎えたと思ったら、もう6月のなかばになってしまいました。月日の経つのは、早いものです。新しい年度で、それぞれが様々な場所で元気に過ごされていると思います。グループを継続されたか子どもたちも新しいお友だちが入ってきて、継続といっても新しい環境となったのだと思います。それぞれの環境に慣れていくということは、大人が考える以上に大変で、そして大切なことです。自分の心と力で、周りを取組まなければなりません。それは、自立への一歩ともいえます。

新しいグループで、新しい幼稚園で、新しい保育園で、新しい学校で、新しい学級で健気に過ごしている子どもたちの心に気持ちを思いやって下さい。先生とうまくやっているだろうか、お友だちとうまくやっているだろうか、遊んでいるだろうか、学習は、次々に心配がわき上がるかもしれません。しかし、子どもたちからのサインを見逃さずしっかり待ちましょう。子どもの元気に育つ力を信じてやることも大切です。そして帰ってきたら、こどもたちをしっかり抱きしめてやってほしいと思います。

東日本大震災について

平成23年(2011年)3月11日、巨大な地震と津波が東日本太平洋岸を襲いました。この大きな震災は大きな私たちの生活に大きな影響を与えています。それは、日常の具体的な生活(物資や消費)については当然ですが、むしろ生活の有り様や心の有り様に影響を与えているのではないのでしょうか。私たちの生活や歴史の中に様々な警告がこれまでに確かにあったことを考えさせられます。

明治29年(1896年)6月15日に巨大な津波が三陸海岸を襲い、死者行方不明者2万1915人という当時の人口等を考えると巨大なものでした。さらに昭和8年(1933年)にも津波に襲われ、死者行方不明者3064人を出しました。昭和三陸津波の時期は3月3日で凍えるような寒さで、津波にさらわれず生き残った方でも寒さで凍死したといわれています。また、石巻出身の作家辺見庸さんが「しおさい」や「うみなり」の中に警告があったのだ、と。それを聞き得なかったのが、私の過誤だったのではないかと書いています。

一方、福島原発事故は、大量の放射性物質を環境に放出し、今なお安定というにはほど遠い状態にあります。一度、環境に放出された放射性物質は無くなりません。ある場所から除去されても、他の場所に移ったというだけで、無くなることのないのです。気の遠くなるほどの長い年月(低濃度汚染物質=例えば原発で働く人の防護服等は300年、高濃度汚染物質=使用済み核燃料等は100万年)を経ないと無害化しないとされています。アメリカのスリーマイル島、イギリスのセラフィールド、ソヴィエトのチェルノブイリと大きな事故があり、その他日本での数々の事故が警告を発していたのです。

今、福島の子どもたちは大変な状況にあります。たくさんの子どもたちは、全国に避難して暮らしています。残った子どもたちもまた大変です。外遊びもろくに出来ず、校庭や園庭の土を掘り起こしています。しかし、掘り起こした放射能汚染された多くの土は、校庭や園庭におかれたままです。現在どこも引き取り手がありません。今、全国すべての都道府県に福島県人は避難しているということです。失われようとしている故郷を取り戻すことが出来るのでしょうか。「暗い霧の中を歩いているようだ。この責任はいったい誰にあるのでしょうか。」と語った福島県人もおりました。

目に見えず、肌でも感じない、においもしない、しかし、身体内部に入り、基本的な生命テープに傷つける可能性があり、長い時間をかけてやってくるものとの戦いです。子どもや若い人は守られなければなりません。その手だてを私たちは考えていかなければなりません。そして二度と繰り返してはなりません。 オリブ園 施設長 後藤進

お知らせ

秋田県聴覚障害児を持つ親の会が出来ました。
代表 荒巻さん ☎018-839-6620
HP <http://akitananchoji.web.fc2.com/>

映画案内 平成23年7月3日(日)

TOGETHER
突発性難聴を題材
由利本庄市出身
加藤夏希 主演

文化会館
小ホール
PM1:00~
PM4:00~
券あります



何かありましたら誰にでも連絡・相談

E-mail olive@kodomo-sekai.com
ホームページ <http://www.kodomo-sekai.com>